

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや ちくさ

題字 黒野清宇

名古屋千種ロータリークラブ
 承認 1982年 8月24日
 例会日 火曜日 12:30
 例会場 愛知厚生年金会館
 事務局 TEL763-5110 FAX763-5121
 会長 小坂井 盛朗
 幹事 舎人 経昭
 会報・雑誌委員長 伊藤 健文

No. 10

手を貸そう

Lend a Hand

2003~2004年度 RI会長 ジョナサン・B・マジアベ

きょうの例会

第1011回 平成15年9月16日(火)

卓話 “彫刻家の目—occident & orient—”

会員 山本 眞輔君

先週の記録

第1010回 平成15年9月9日(火)

晴

◆“それでこそロータリー”

◆斉唱 “四つのテスト”

◆出席報告

会員	68(61)名	出席	43名
出席率	70.49%		
前々回	8月26日(修正出席率)	96.67%	

◆ゲスト紹介

女優 小鹿 みきさん

舎人幹事報告

1. 次回例会終了後、臨時総会を開催致しますので、全会員お残り下さい。その後、理事役員会を開催致しますので理事役員の方はご予約下さい。
2. ロータリーの友とガバナー月信が来ておりますのでお帰りにお持ち下さい。
3. 全国会員名簿が来ておりますのでお申し込みされました方はお帰りにお持ち下さい。
4. ロータリー ジャパン ウェブ (Rotary Japan Web) で使用する「ロゴマーク」の募集が来ておりますので応募されます方は事務局までご連絡下さい。

鈴木(正)ロータリー館運営委員よりお願い

ロータリー館運営委員会が7月29日に開催され建設資金不足の為、各クラブへ協力の要請がありましたので本日より募金箱を受付に設置させて頂きました。よろしくお願い致します。

小坂井会長挨拶

皆さん今日は!!お元気ですか。ガバナー補佐訪問、ガバナー公式訪問が無事終了ガバナーからは先日のガバナー補佐訪問に際しての我クラブの講評が良かったとの嬉しい言葉を頂きました。

本日は興安嶺の山中で大隊長が自刃をされた続きのお話を致します。

日本が負けた、日本が全面降伏をしたのだ、と何回も何回も自分に言い聞かせ乍ら我々は大街道を避け北満の山中を夜間のみ行軍し一路チチハルに向いました。

「出来るだけかたまって歩け、離れるな」と声を掛け合いながらソ連兵の目をぬすみ、満人に見つからないようにと日中はひそみ、夜中行軍である。疲れたのか一人だけ遅れたのがいる。おい危ない!月明りが朧々、大草刈りガマが一閃し遅れた日本兵の首がピューンと空に飛ぶと、どこから湧いて来たのかバッタのごとく満人が取りついて日本兵の身ぐるみを剥いでサッと四散する。土匪と化した彼らも我々がまだ武装している為まともには襲ってこない。しかし部隊から離れた兵隊には間違いなくジョーカーが持つような大きな長い柄の草刈り鎌で襲ってくる。彼らは日本軍が負けた事を既に知っているのだ。そんな苦勞の末ようやくチチハルにたどり着き列車に乗り込んだ。列者はハルピンに向かって走り出す。鈴生りの満杯の状態だ。途中で沢山の日本人の民間人(満豪開拓団)の集団を見た。子供も女性もいる。駅を通過するごとである。民間人を残して軍人だけが先に帰るような状態で心が痛みました。

大東亜戦争完遂!!大陸満州の大地に勇飛せよと日本の貧しい農村地帯の方に呼び掛け、沢山の日本人が満豪開拓団としてはるばる満州にやって来ました。正に国策によって。大きな夢を抱いて渡満。しかし、そんな王道楽土の実現は簡単で無く皆さん大変な苦勞をなさいました。そして開戦ソ連軍の侵入、もう大混乱の中必死で日本に帰ろうとする。満人土匪の上ソ連軍による略奪、強姦、殺戮、皆さんご覧になった「大地の

子」や「異国の丘」の映画の通り小さな子供を満人に預けたりして生命からからの逃避行。

悲惨でした。生き地獄でした。でも私達は何もしてあげられませんでした。レンドアハンドは夢でした。その時三才の子も今は61才になっています。

中国残留孤児対面、こんなニュースを皆さんも数多く見られたと思いますが、その親は80才後半か90才、元気としても家の実権は失っています。どうして日本の政府は手をこまねいていたのでしょうか。せめて昭和35年（終戦後15年）位に手を打っていたら孤児は18～20才位、日本の親も50～60才、まだ一家の主人として健在で居られたと思います。もう取返しがききません。日本政府の大失敗です。残念でなりません。涙が自然に溢れます。国の指導者は何をなすべきか？真剣に考えられる方でなくてはなりません。民の籠の煙りを見て考える方が本当に望まれます。

戦は負けたら悲惨です。涙が自然に溢れます。

◆講演

“人生は人との出会いから”

女優 小鹿 みきさん（紹介 堀江君）



先ほど「初心に戻ろう。清浄発心」を目にし、日々発心。日々原点。日々清浄とは私の人生の師と仰いでいるオーナーから聞かされているので、さすが一流人の集まりだなあと感じました。

兵庫県甲子園球場のすぐ近くで普通のサラリーマン家庭に生まれ芸能界に入ったのが17歳。父親はスカウトがきっかけで芸能界に入った一人娘の私に憤慨し、何年か勘当状態でした。父の心配とは裏腹にプロダクションの社長のお蔭で基礎もない私に役が付き、とんとん拍子で良い方向に向いていきました。

今日のタイトル「人生は人との出会いから」のようにいい方々と出会ったわけです。

名古屋に移り住んで12年経ちますが、そのきっかけは御園座に来た時、名古屋は芸処で役者さんをとっても大切にしてくれる処だから、ということです。その時出会ったのが今のお店のオーナーで私は自分の役柄に不満を感じ我儘になっていました。オーナーに「私を変えてほしい。原点に戻りたい。」と話したら「自分を変えてほしい。じゃなく自分で変わりなさい。

自分が一人で有名になったのではなく、父、母、プロダクションの社長のお蔭で今の貴女があるのです。いくら芝居が出来る女優かもしれないが人生の芝居が全然出来てないじゃないですか。人生は自分で台本を創り演じていくものです。自分の心が変われば変わっただけ人もついてくる。」とアドバイスを受けました。

若い頃は怖いもの知らずで生意気に飛び回って大物の方々と共演しても“出会い”という財産を使わずにいた私ですが、自分と戦い、今では会長様の有意義なお話や会場の皆様との出会いを大切に頑張っている、昔の私とは違い輝いて大きく成長した姿をもう一度見てほしいと思っています。

一流人というのは有名人ではない。

心が一流な人が一流だ。

心こそ大切なれ。

（文責 堀江）

地区会員増強委員会報告

会員増強委員長 吉田 玄

8月5日に開催された会議で、ディスカッションの中で提案された“退会防止の方策”について御紹介します。

- ・ロータリーの雰囲気になじめるかどうかを、入会前に審査する。
- ・同好会に入ってもらい人間的なつながりを強化する。
- ・指定席例会。
- ・休会を希望する会員が増えている。休会中のR I負担金のみ納入、あるいは年会費を免除して、休会を認めたらどうか。
- ・会長幹事経験者の退会防止策として、責任あるポストを与え活躍の場を作る。
- ・例会に趣向を凝らす。
- ・夜間例会を多くして、ゆったりと飲みながら気楽な例会にする。
- ・同好会、趣味の会の活用。
- ・盛大に入会式を行い、辞めにくくする。
- ・夫人だけの会を開催。
- ・紹介者に責任を持たす。
- ・ファイヤーサイドミーティングを行い、ノミネーションをはかる。
- ・ベテランと新人の融和を図る。
- ・サロニックな雰囲気、居心地のよいクラブづくり。
- ・なるべく早く理事になってもらう。
- ・魅力ある例会、工夫を凝らした例会の開催。
- ・出席率の向上が重要課題。100%出席者の表彰。
- ・入会前にその適性を十分見極める。

◆ニコボックスは次回掲載と致します。

また、9/2分のニコボックスで氏名に誤りがございましたので訂正させていただきます。

（誤）山田 眞輔 → （正）山本 眞輔

次回例会 平成15年9月30日(火)

友愛の日